



日野資実袖判下文案

## 有形文化財（古文書）

### 49. 法住寺文書 18点

■指定年月日 平成5年3月18日(1993)

■構成 古文書16通 縁起・写経各1巻

■所在地 宝立町春日野83-15

■所有者 法住寺

法住寺文書は、鎌倉初期から近世中期にいたる500年間にわたり、18通が現存する。

最古の文書は建久8年(1197)3月の<sup>ひのすけざね</sup>日野資実袖判下文案で「法住寺をもって御祈禱所となす事」とある。このように法住寺は珠洲郡の大半を占めた<sup>わかやまのしょうりょうけ</sup>若山荘の領家日野家から特別の<sup>ひご</sup>庇護をうけた関係で、日野家からの下文や御教書が9通もあって、現存史料の半数にあたる。また13世紀末の<sup>じどうまんどうだいの</sup>地頭政所代の土地寄進状や禁制もある。南北朝・室町期の史料が欠失し、戦国期にはいって守護代<sup>ゆゑ</sup>遊佐氏の寄進状を含めて判物3通、そして前田利家の印判状3通、そして縁起および空海筆と伝える<sup>はんんにや</sup>般若心経1通の計18通が現存している。これらの史料中には検討を要するものもあるが、法住寺のひいては地域の歴史研究上、貴重な中世史料である。

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 日野資実袖判下文案      | 建久8年3月      |
| 2. 日野資宣袖判下文       | 康元元年10月10日  |
| 3. 日野資宣御教書        | 文永4年5月21日   |
| 4. 日野資宣袖判下文       | 文永11年11月21日 |
| 5. 若山庄地頭政所代田地寄進状  | 弘安7年11月     |
| 6. 藤原宗信禁制断簡       | 応長元年12月     |
| 7. 日野資名御教書        | 嘉暦3年5月24日   |
| 8. 日野資名御教書        | 元弘3年7月20日   |
| 9. 某御教書案          | 建武元年7月17日   |
| 10. 某御教書          | 康永2年6月9日    |
| 11. 日野資教御教書       | 永和元年12月5日   |
| 12. 遊佐統秀田地寄進状     | 文明12年9月8日   |
| 13. 遊佐総光判物        | 享禄4年閏5月19日  |
| 14. 遊佐総光田地寄進状     | 享禄4年閏5月19日  |
| 15. 前田利家奉書        | 天正12年3月7日   |
| 16. 前田利家判物        | 天正12年7月28日  |
| 17. 吼木山法住寺縁起并宝物目録 | 江戸中期        |
| 18. 般若心経          | 江戸中期        |